

編集後記

(61巻 第10号 2015年10月)

ラグビー日本代表が大金星をあげた。イングランドで行われているラグビーW杯2015で、南アフリカ(スプリングボックス)に劇的な逆転勝利をあげたのだ。これまでの日本ラグビーの屈辱の歴史を知るファンは皆涙したと思う(本当に泣けました)。1995年に開催された第3回ラグビーW杯では、日本はニュージーランド(オールブラックス)に17-145の大差で負けており、この数字は今でもラグビーW杯の最多得点記録となっていると思う。その日本が世界トップランクの南アフリカを破った。得点がきわめて入りにくいサッカーでは、時々まぐれにも近い大番狂わせがあるが、ラグビーは少しの実力差が大きな点差につながるので番狂わせが起きにくい競技。その意味で、日本代表のラグビーがいかによばらしかったかがわかる。ニュージーランド留学中のボスを含め、何人かの友人からは、すぐさまお祝いメールが届いていた。

2019年には日本でのW杯開催が決定している。また、南半球で行われているスーパーラグビーに来年から日本チームが加わる。留学していたオタゴ大学のあるダニーデンにはスーパーラグビーのオタゴ・ハイランダーズがある。ハイランダーズは今年のスーパーラグビーの優勝チームであるが、来年からは日本 vs ハイランダーズの試合を見ることができると思う、本当に楽しみだ。日本のチーム名を考えなくてははいけない。なんのひねりもありませんが「ジャパン・サクラサムライズ」なんてどうでしょう？

(小川 修)